

平成29年10月17日

## 無線LAN (Wi-Fi) の暗号化システム「WPA2」における脆弱性について

### ○ 概要

無線LAN (Wi-Fi) による通信を安全に行うための仕組みである「WPA 2 (Wi-Fi Protected Access II)」に深刻な脆弱性が存在することが明らかとなりました。

「WPA 2」は、スマートフォンやIoT機器等でも一般的に利用されています。本脆弱性が悪用された場合、電波による通信の内容が盗聴され、ID、パスワード、クレジットカード情報が第三者へ漏れるなどの被害が発生する可能性があります。

### ○ 対策

#### ・ アップデートする

Wi-Fiを利用している全ての通信機器（親機、子機ともに）について、アップデートの有無をチェックし、最新の状態を保つ。

#### ・ 重要な情報は扱わない

本脆弱性の対策が確認されていない環境で同方式によるWi-Fi通信を行う場合は、重要な秘密が含まれる情報は扱わない。

#### ・ 設定や接続方法の見直し

重要な情報を扱っているシステムなど高い安全性が必要な場合は、安全が確保されるまでの間、Wi-Fiでの通信を行わないようにし、有線LANを使用する。